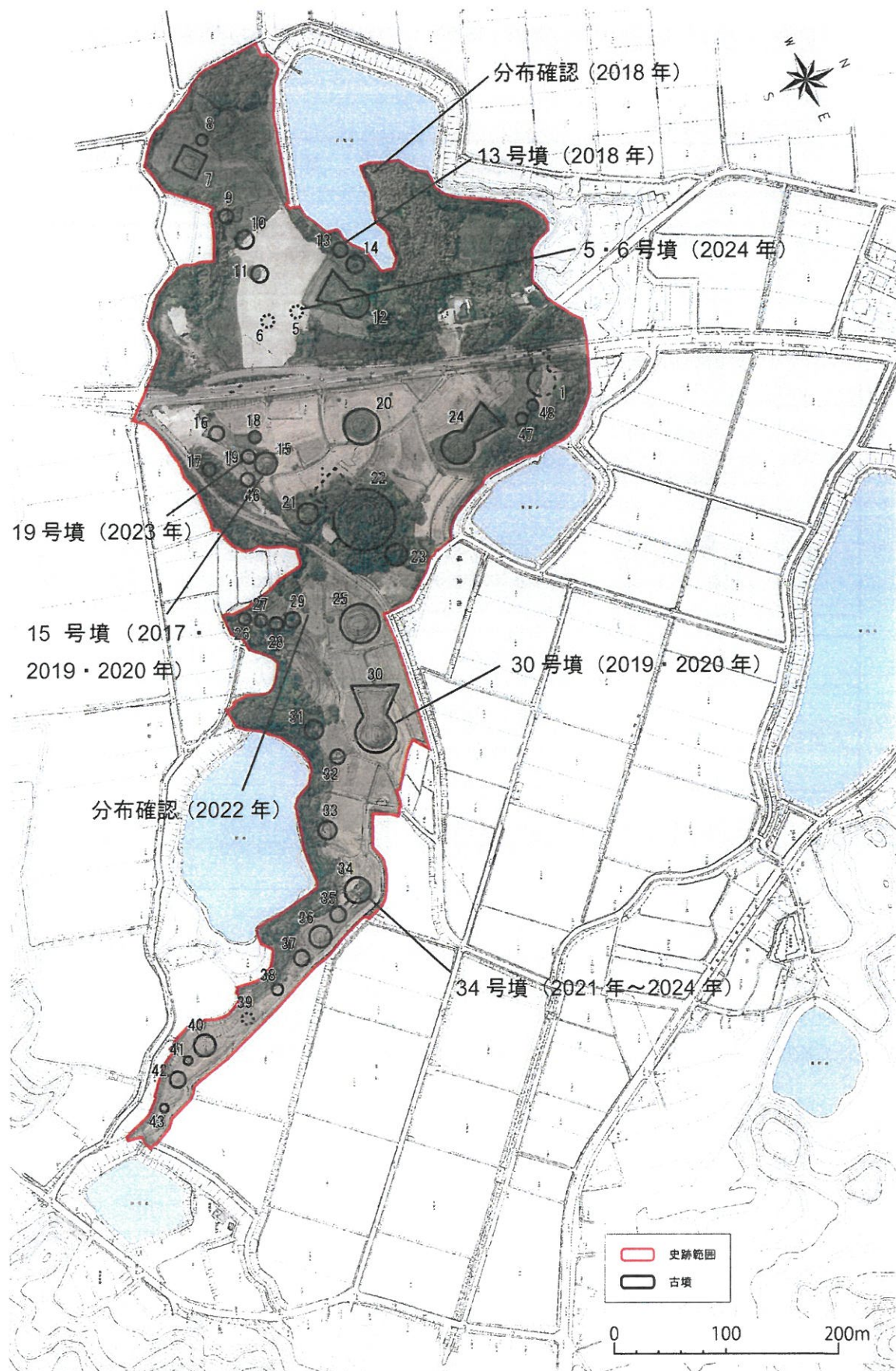


国指定史跡 津屋崎古墳群(新原・奴山古墳群)の調査等について

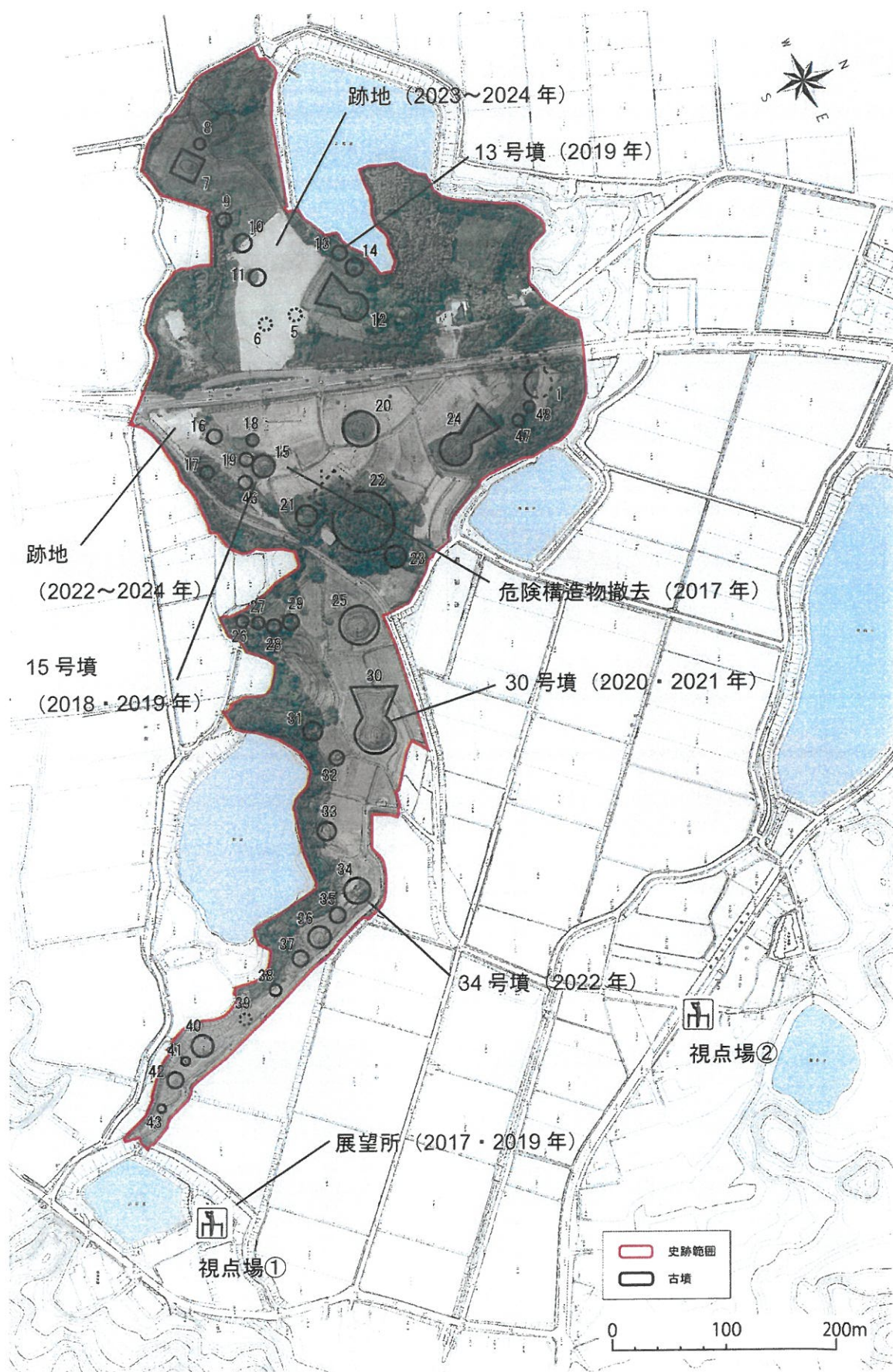
【これまでの経過一覧表】

	2017年	2018年	2019年	2020年
A.調査	15号墳墳丘	13号墳崩落面	15号墳範囲確認 30号墳墳丘	15号墳範囲確認 30号墳範囲確認
B.整備	展望所(便所・東屋等) 火葬場・井戸除却	15号墳墳丘修理	展望所(サイン等) 13号墳災害復旧 15号墳墳丘修理	30号墳墳丘修理
C.活用	古墳まつり 赤外線カウンター設置 世界遺産登録銘板設置	古墳まつり 発掘調査現地説明会	古墳まつり 発掘調査現地説明会	古墳まつり 発掘調査現地説明会
D.公有化	面積 0㎡ 累計 (77,005.04㎡) 経費 552,892円	5,891.00㎡ (81,874.04㎡) 195,308,856円	18,103.99㎡ (99,978.03㎡) 115,168,551円	5,862.54㎡ (105,840.57㎡) 192,404,085円

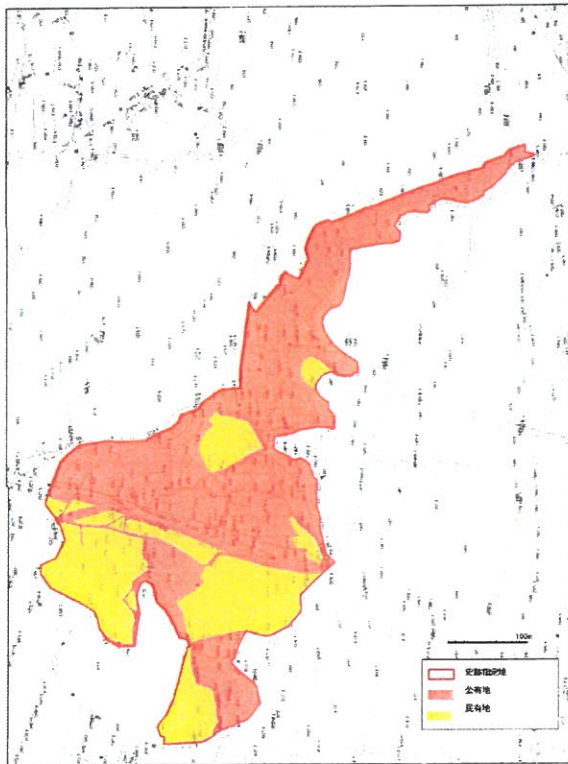
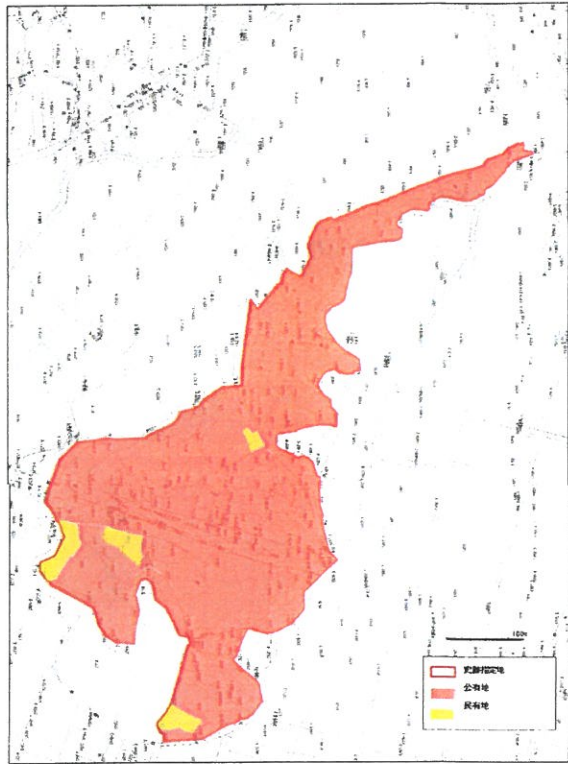
	2021年	2022年	2023年	2024年
A.調査	34号墳墳丘	34号墳範囲確認 19号墳範囲確認 分布確認(1基)	34号墳石室 34号墳範囲確認 19号墳範囲確認 分布確認(2基)	34号墳範囲確認 5号墳範囲確認 6号墳範囲確認
B.整備	30号墳墳丘修理	34号墳墳丘修理 民間事業施設跡地	民間事業施設跡地 大型農業施設跡地	民間事業施設跡地 大型農業施設跡地
C.活用	古墳まつり 発掘調査現地説明会	古墳まつり 発掘調査現地説明会	古墳まつり 発掘調査現地説明会	古墳まつり 発掘調査現地説明会
D.公有化	0㎡ (105,840.57㎡) 8,598,787円	0㎡ (105,840.57㎡) 3,267,612円	11,059.83㎡ (116,900.40㎡) 1,069,412,312円	0㎡ (116,900.40㎡) ー 円

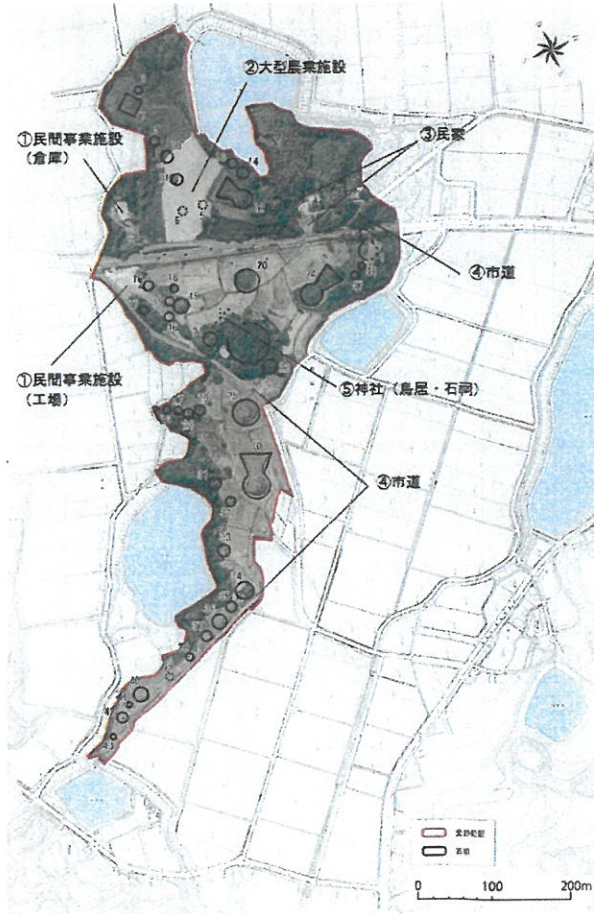


A.調査 位置図



B.整備 位置図

項目		現在の状況
新原・奴山古墳群の公有化の推進		実施中 (2018～2024)
行動計画	○民有地の公有化：資産範囲内の民有地の段階的な公有化を進める。 ○大規模な農業施設の撤去：資産範囲内の農業施設について、関係者と撤去の協議を進め跡地の整備を進める。	
概要		
資産範囲内の民有地について、2018年に22,972㎡、2019年に723㎡、2020年に5,139㎡、2022年に11,059㎡の公有化を行った。公有化率は2017年に64％であったが、登録後に95％になった。公有化に伴い撤去した大型農業施設の跡地について、整備計画に基づく跡地整備を進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	行動計画に基づき実施した。跡地整備は整備指導委員会の指導の下に進めている。	
状況を示す写真や資料等		
 2017年  2024年  大型農業施設 撤去前  大型農業施設 撤去後		

項目		現在の状況
新原・奴山古墳群の人工構造物撤去		実施中 (2018～2024)
行動計画	人工構造物の撤去（①民間事業施設、②大型農業施設、③民家、④市道、⑤その他）	
概要		
①民間事業施設：2020年、民間事業施設（工場・倉庫）を公有化に伴い撤去した。文化財保護法に基づく現状変更（国許可）		
②大型農業施設：2022年、JAカントリーエレベーター等を公有化に伴い撤去した。文化財保護法に基づく現状変更（国許可）		
③民家：2018年、民家（2物件）を公有化に伴い撤去した。文化財保護法に基づく現状変更（市許可）		
④市道：関係課（建設課・農林水産課）と協議中。		
⑤その他：2018年、新原縫殿宮（鳥居・石祠等）を公有化に伴い撤去した。文化財保護法に基づく現状変更（市許可）		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針	
■計画どおり進捗している	行動計画に基づき、整備指導委員会の指導助言の下で実施した。福岡県教育委員会の指導を受けて、福津市教育委員会職員（埋蔵文化財担当）が立会いを行った。	
□計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 人工構造物撤去前（2017年）位置図  人工構造物撤去後（2023年）位置図		

8 整備活用方針及び内容		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
方針1 各古墳の特性を生かし、宗像氏の古墳群としての価値を伝えます。		2020.4～2021.3	2021.4～2022.3	2022.4～2023.3	2023.4～2024.3	2024.4～2025.3	2025.4～2026.3	2026.4～2027.3	2027.4～2028.3	2028.4～2029.3	2029.4～2030.3	2030.4～2031.3	2031.4～2032.3
(1)古墳の整備	整備のための調査		34号墳(法面)	34号墳・16号墳(確認調査)	34号墳(石室)	報告書	36号墳	報告書					
	修復工事		30号墳	34号墳(法面)	所有者協議	34号墳(石室・墳丘・地形)	36号墳(石室・墳丘・地形)						
	復元のための調査												
	整備工事									1号墳	報告書		
(2)古墳の復元	整備計画の策定									22号墳復元案の検討			1号墳
方針2 古墳が立地する台地全体の環境を整えます。													
(1)旧地形の復元	旧地形の復元のための調査												
	整備工事				産業廃棄物中間処理施設付近					5号墳・6号墳・9号墳・10号墳・11号墳・12号墳・13号墳・39号墳・ため池等			
方針3 海を望む古墳に立地する古墳群として、景観を整えます。													
(1)樹林の整理													
(2)人工構造物の撤去と跡地の整備	産業廃棄物中間処理施設		跡地整備検討	跡地整備工事									
	大型農業施設		再算定	買上・撤去	仮整備								
	民家		跡地仮整備検討	移転計画	現地調査	移転準備	買上・撤去	跡地整備検討					
	市道			移転計画・道路認定の廃止	地元・県農アソシエーションの協議								
(3)古墳群の景観													
方針4 来訪者が快適に見学できる環境を整え、古墳群の価値を分かりやすく伝えます。													
4-1 来訪者環境の整備													
(1)交通アクセス													
(2)観光への対応													
(3)道路・サインの整備	道路				12号墳付近								
	サイン			30号墳更新	12号墳等								
(4)展望所													
(5)便益施設													
(6)安全対策													
4-2 価値の発信													
(1)学術調査研究	航空レーザー測量成果に基づく調査研究計画の見直し												
2)展示解説の充実													
(3)普及・啓発													
方針5 古墳群の一体的な保存活用に向けて、段階的に整備を進めます。													
一体的な古墳群全体の活用													
9 調査研究計画													
(1)宗像氏と中ノ島のつながりを明らかにする調査	調査研究機関との調査												
(2)新原・奴山古墳群の成立を明らかにする調査	夫精記古墳の調査												

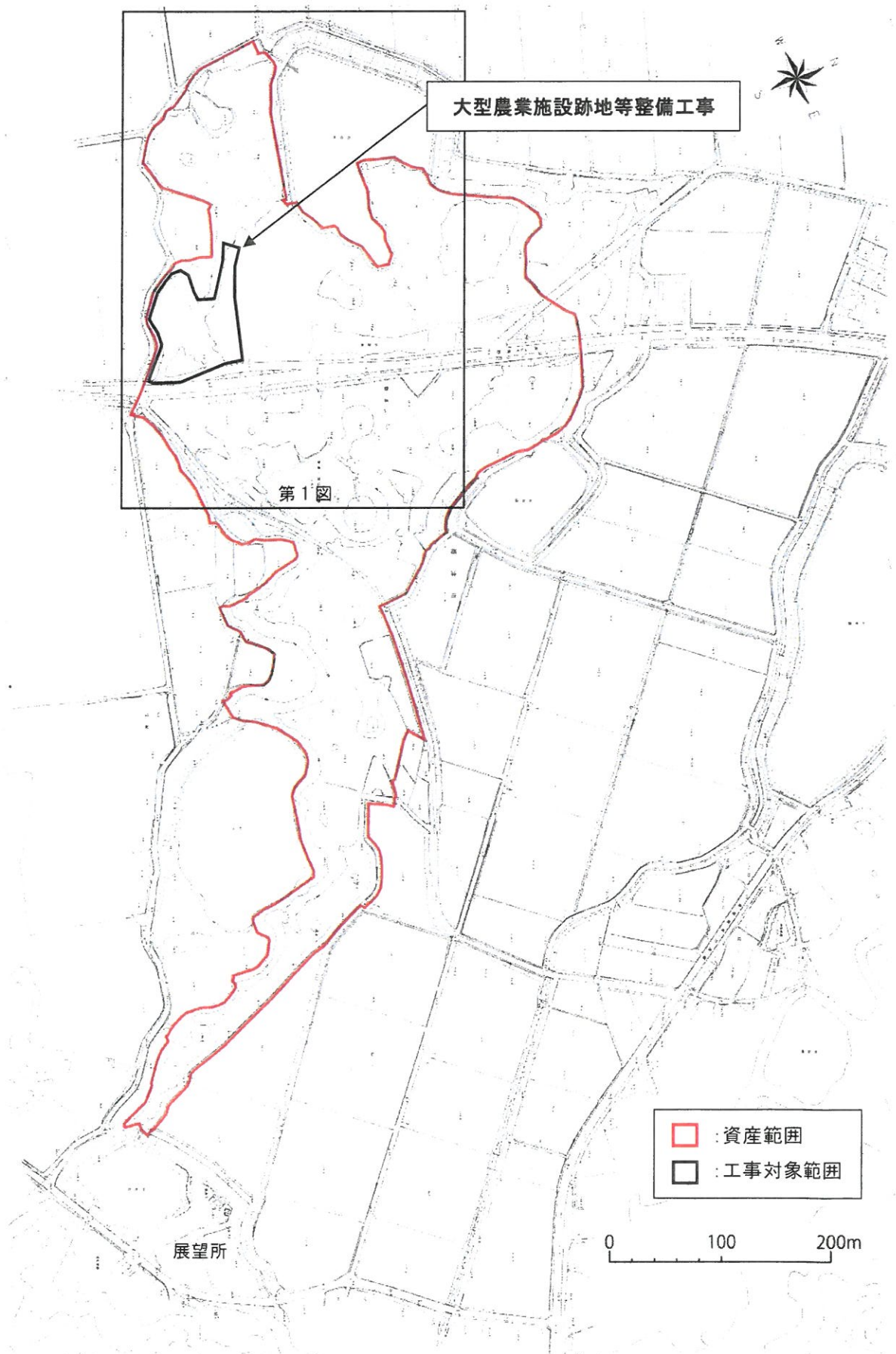
新原・奴山古墳群整備行動計画スケジュール (『第2次 新原・奴山古墳群整備計画』)

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
整備	◆大型農業施設跡地等		入札事務等 ←→ ●県協議 ●現状変更許可申請 → 実施設計 工事発注 工事・施工監理（広場造成・樹木伐採） ←→										
調査	◆大型農業施設跡地等 （5・6・10・11号墳）		●県・九歴協議 ↓ ●九歴職員派遣→ 大型農業施設跡地等確認調査（5・6・10・11号墳） ←→									現地説明会 ●	
史跡公有化	◆個人宅 ◆山林	移転・建物撤去・登記等 ↓ 移転交渉・土地及び補償鑑定 ↑ 完了											
維持管理	◆草刈清掃 ◆樹林整理	← 新原・奴山古墳群展望所草刈清掃（12回以内／年）・散策路草刈清掃（14回以内／年） →		史跡地草刈清掃（2～3回／年） ↓ 竹林・樹林伐採（4箇所／年） ←→									
公開活用	◆新原・奴山古墳群 ◆歴史資料館	← 古墳見学・世界遺産学習（福津・宗像両市小中学校） →										古墳まつり ← ●歴史講座 ●歴史工房カメラリア② （内容検討中） 企画展 → 発掘速報展 →	

※保存活用協議会事業を除く。

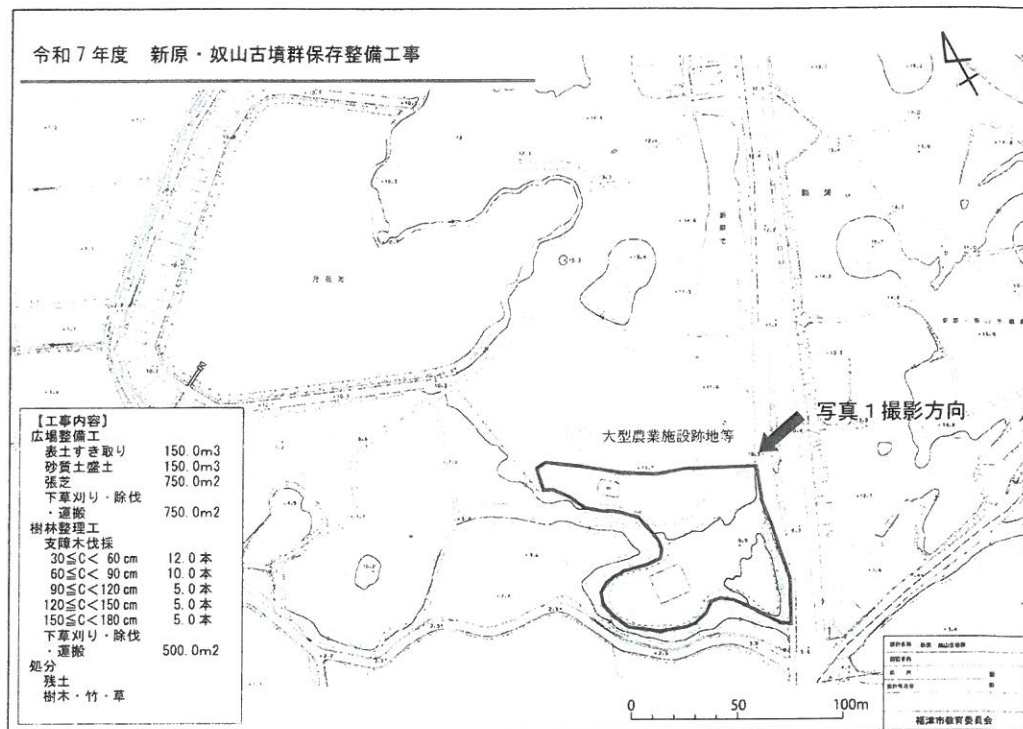
令和7年度 新原・奴山古墳群 整備事業について

●大型農業施設跡地等 整備工事



大型農業施設跡地等整備

史跡公有化に伴い大型農業施設を撤去した。この跡地及び周辺において、『第2次 新原・奴山古墳群整備計画』に基づく仮整備として広場整備を進めている。令和7年度は、部分的な広場造成や樹林整理を実施する。



第1図 工事概要図



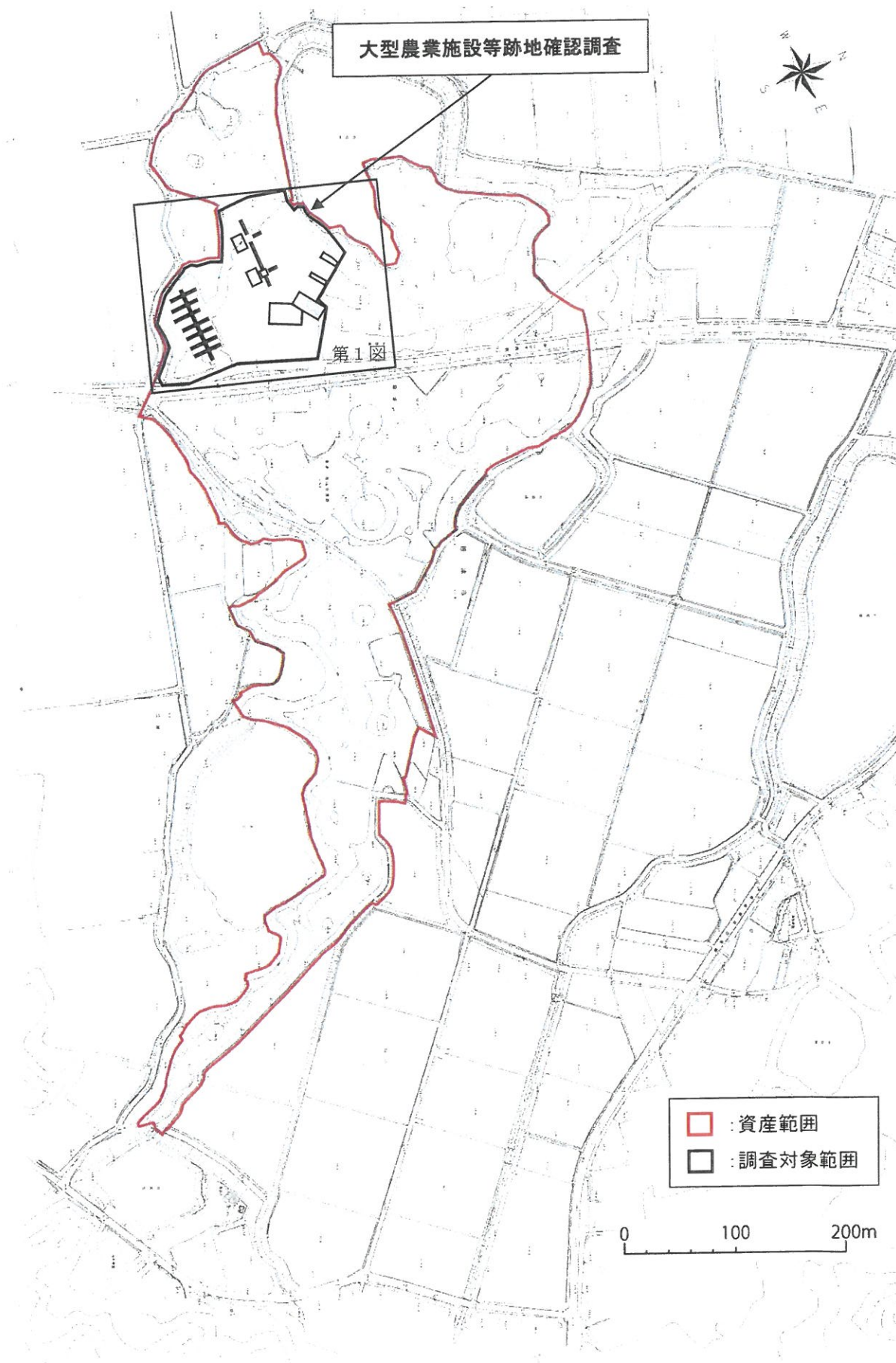
写真1 現況（令和7年4月，東から撮影）



大型農業施設等移転後の跡地整備（南側から見る 上：現状，下：仮整備イメージ）

令和7年度 新原・奴山古墳群 調査について

●大型農業施設等跡地 確認調査



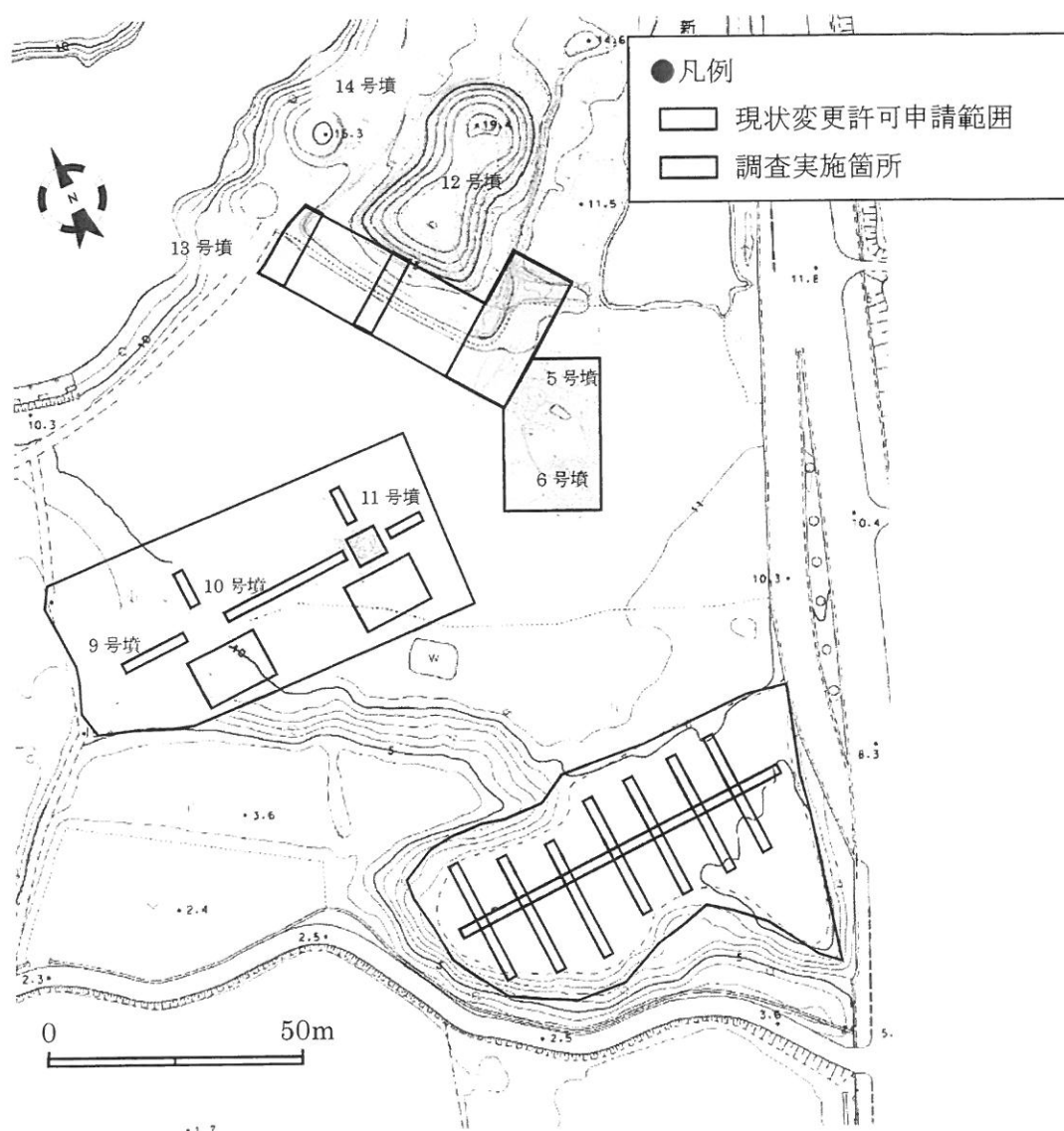
<令和7年度調査>

大型農業施設等跡地 確認調査（分布・範囲確認）

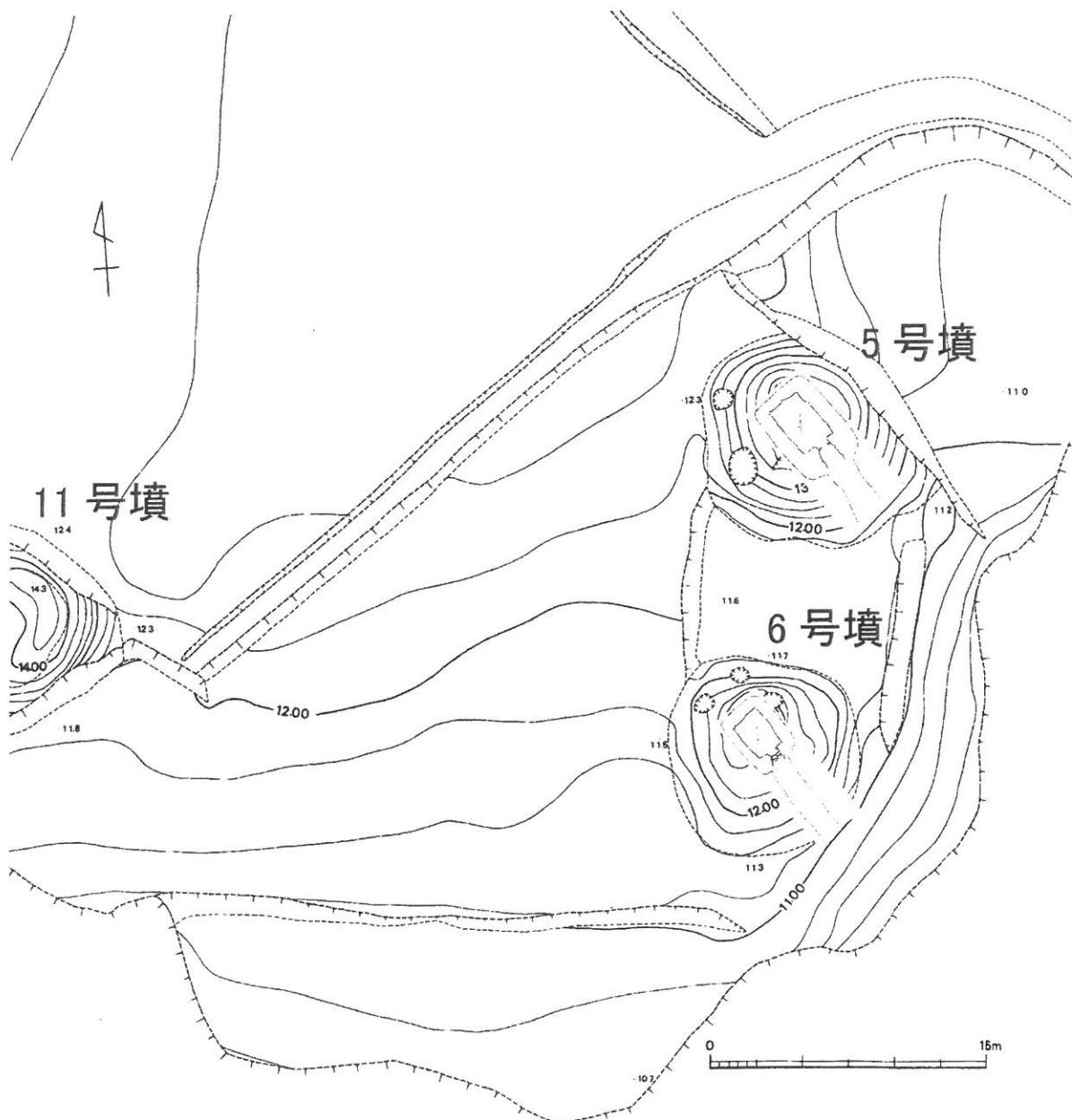
大型農業施設等跡地の仮広場整備、および本格的な園路整備設計に先立って必要な敷地全体の遺構把握を目的として、記録保存調査後に消滅した5・6号墳の残存状況確認、9～12号墳の規模・形状確認、現時点で地上遺構が確認されていない南東側丘陵地の遺構分布確認調査を実施する。

令和6年度調査では、昭和55(1980)年の調査記録をもとに表土を取り除いたところ、5号墳・6号墳ともに石室と墓道の一部が残存することを確認した。さらに、前回の調査範囲外だった墓道の未発掘部分を確認した。

令和7年度は、引き続き両古墳の石室攪乱土の除去を継続し、石室残存状況等の追跡調査を行う。また、9～12号墳についても範囲確認調査を実施する。

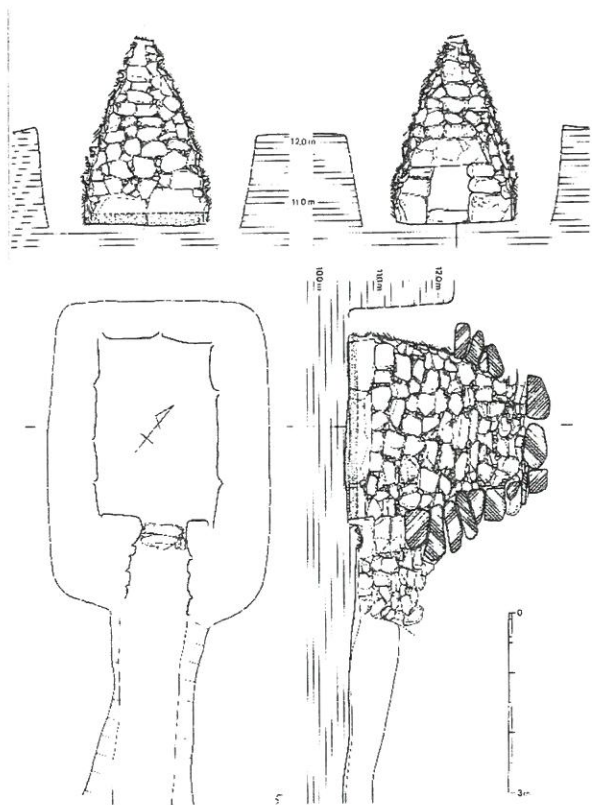


第1図 大型農業施設等跡地等確認調査 位置図

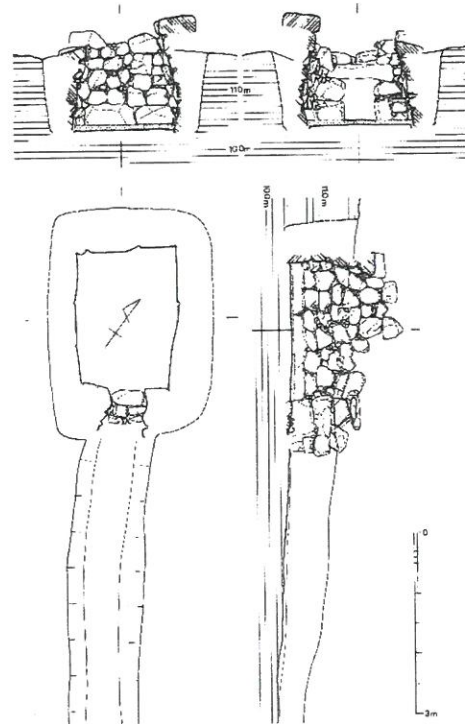


5号墳・6号墳 位置図

第2図 5号墳・6号墳 旧地形測量図及び位置図



第3図 【昭和 55 年】5号墳石室



第4図 【昭和 55 年】6号墳石室



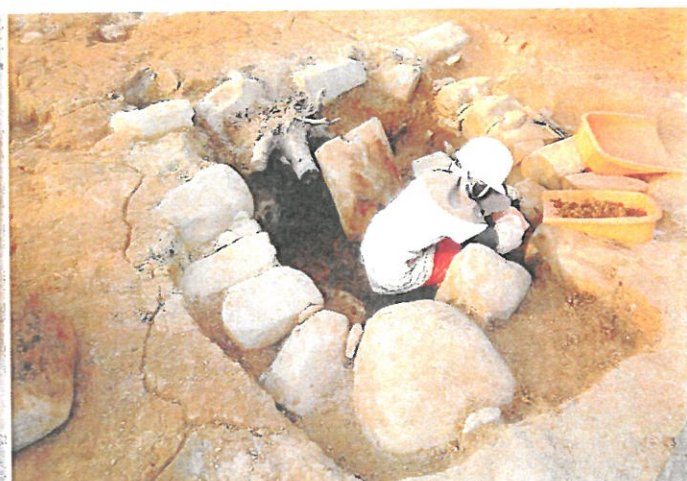
▲5・6号墳 調査区



▲5号墳石室 掘削状況



▲5号墳墓道 未発掘部検出状況



▲6号墳石室 掘削状況